

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験科目名	専門試験（ 哲学倫理学 ）
出題の意図	<ul style="list-style-type: none">● 修士課程において哲学倫理学の専門的研究を遂行するために必要な論理的思考力、表現力があるかを、記述式の設問により確認する。● 哲学倫理学の専門研究を遂行するために求められる一定の哲学史的知識を持つか、確認する。● 哲学倫理学の専門研究を遂行するために必要な外国語の読解能力があるか、確認する。

2026年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 哲学倫理学 全5枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 5枚、解答用紙 5枚を配付する。

専門試験問題は、論述形式問題、事項説明問題、および外国語文献読解よりなる。

I. 論述形式問題

(1)、(2)のうちどちらか一つを選択し、解答しなさい。

II. 事項説明問題

出題された10問の事項説明問題から5問を選択し、それぞれを簡潔に説明しなさい。

III. 外国語文献読解

英語、ドイツ語、フランス語から研究に必要な外国語を一つ選択し、解答しなさい。

I. 論述形式問題

- (1) 生得的な概念、あるいは知識が存在するか、哲学的観点から論じなさい。
- (2) 「相手のためであれば嘘をついても良い」という考えについて、何らかの倫理学説に触れつつ、賛成ないし反対の立場から論じなさい。

II. 事項説明問題

- (1) 「同じ川に二度入ることはできない」
- (2) ポリス的動物（アリストテレス）
- (3) 唯名論（中世哲学）
- (4) *Esse is percipi*
- (5) 悪しき霊
- (6) *Aufheben*（止揚・揚棄）
- (7) 認識的不正義
- (8) *signifiant* と *signifié* (Saussure)
- (9) *Das Man*
- (10) 行為功利主義と規則功利主義

III. 外国語文献読解

【英語】 次の文章全体を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：H. Beebee, *Hume on Causation*, Routledge, 2006, pp.5-6

【ドイツ語】 次の文章全体を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典: Manuel Knoll: *Theodor W. Adorno. Ethik als erste Philosophie*, Wilhelm Fink: München 2002, S.33. [一部改変]

【フランス語】 次の文章全体を和訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Maine de Biran, *Essai sur les fondements de la psychologie*, in *Œuvres de Maine de Biran*, tome VII, Vrin, 2001, pp. 185-186.